

農村での社会貢献活動に関する企業意識調査

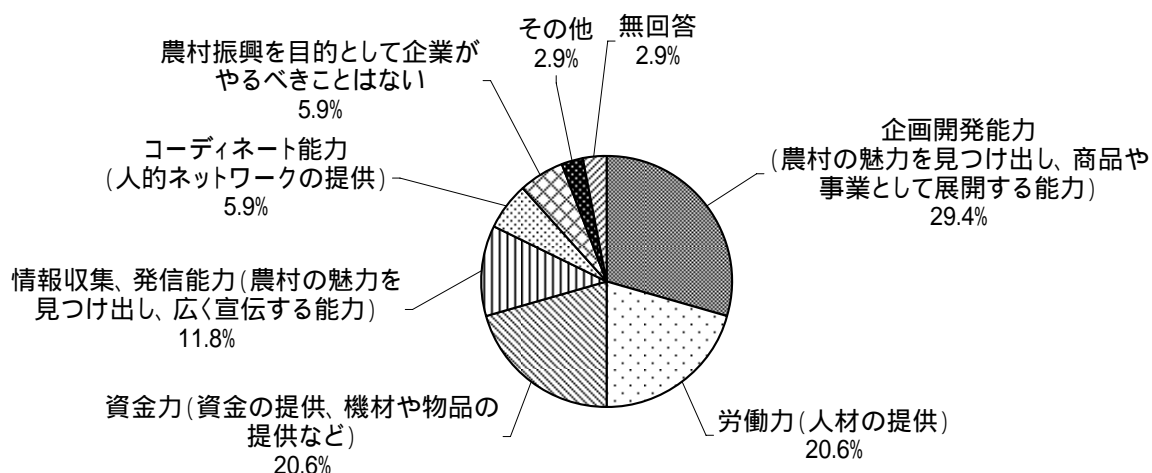
1 調査の概要

配布日	平成20年 2月12日
回収期日	平成20年 2月22日
アンケート対象	昨年度調査（平成18年度農村整備・活性化基礎調査 多様な主体の協働による農村振興のあり方に関する調査（一般企業アンケート））の回答企業111社の内、連絡先が把握できた109社を対象とした。
実施方法	発送：郵送 回収：FAX
発送数	109サンプル
回答数	34サンプル
回収率	31.2%

2 調査結果

問1 企業の有する資源のうち、農村振興に最も有効な資源はなんですか。(1つ選択)

「企画開発能力(農村の魅力を見つけ出し、商品や事業として展開する能力)」が29.4%で一番多く、次いで「労働力(人材の提供)」、「資金力(資金の提供、機材や物品の提供など)」が20.6%で多くなっている。



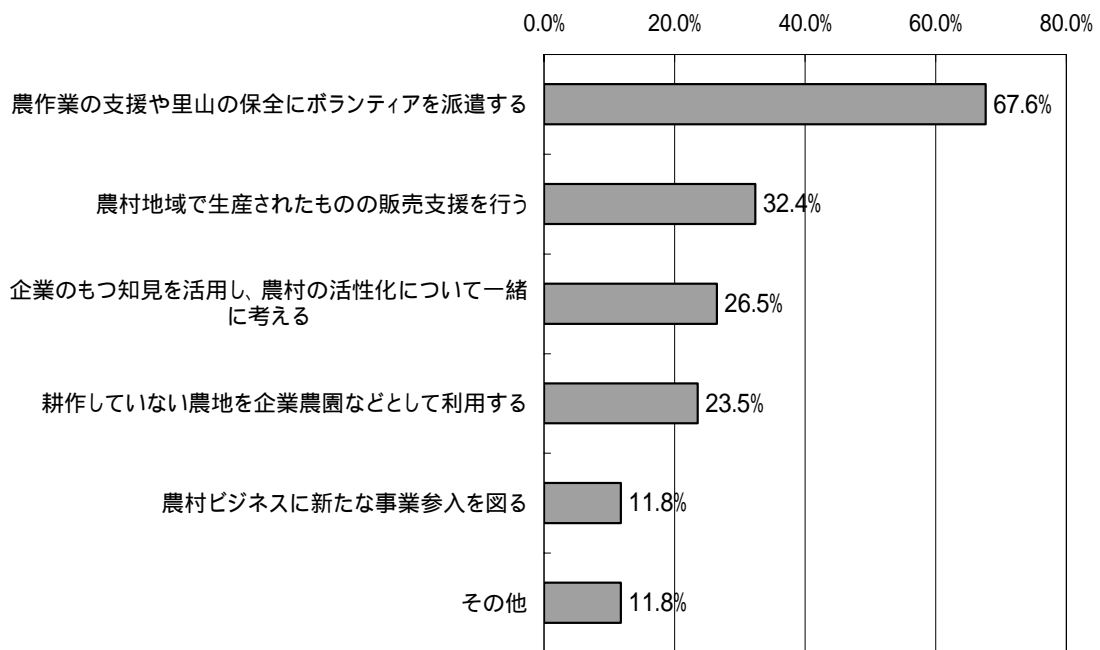
	回答数	回答割合
企画開発能力(農村の魅力を見つけ出し、商品や事業として展開する能力)	10	29.4%
労働力(人材の提供)	7	20.6%
資金力(資金の提供、機材や物品の提供など)	7	20.6%
情報収集、発信能力(農村の魅力を見つけ出し、広く宣伝する能力)	4	11.8%
コーディネート能力(人的ネットワークの提供)	2	5.9%
農村振興を目的として企業がやるべきことはない	2	5.9%
その他	1	2.9%
無回答	1	2.9%
合計	34	100.0%

【問1:その他の回答】

- ・企業の業種により何れも当てはまると考えます。

問2 別添の消費者アンケートでは、消費者が最も社会貢献していると感じられる農村での企業の活動の上位5つは下記のとおりでした。この中で、貴社で実施している、又は実施したい取組はどれですか。（該当するもの全て選択）

「農作業の支援や里山の保全にボランティアを派遣する」が67.6%と過半数を超えて最も多く、次いで「農村地域で生産されたものの販売支援を行う」が32.4%、「企業のもつ知見を活用し、農村の活性化について一緒に考える」が26.5%と多くなっている。



	回答数	回答割合
農作業の支援や里山の保全にボランティアを派遣する	23	67.6%
農村地域で生産されたものの販売支援を行う	11	32.4%
企業のもつ知見を活用し、農村の活性化について一緒に考える	9	26.5%
耕作していない農地を企業農園などとして利用する	8	23.5%
農村ビジネスに新たな事業参入を図る	4	11.8%
その他	4	11.8%
有効回答数	34	-

【問2：その他の回答】

- ・近隣農村の魅力、特徴について情報発信を行うことで来訪動機の醸成を行う
- ・今のところ実施の予定はありません
- ・以前、障害者向け農業体験の企画はありましたが、現在実施の予定はありません

【問2 × 問1】

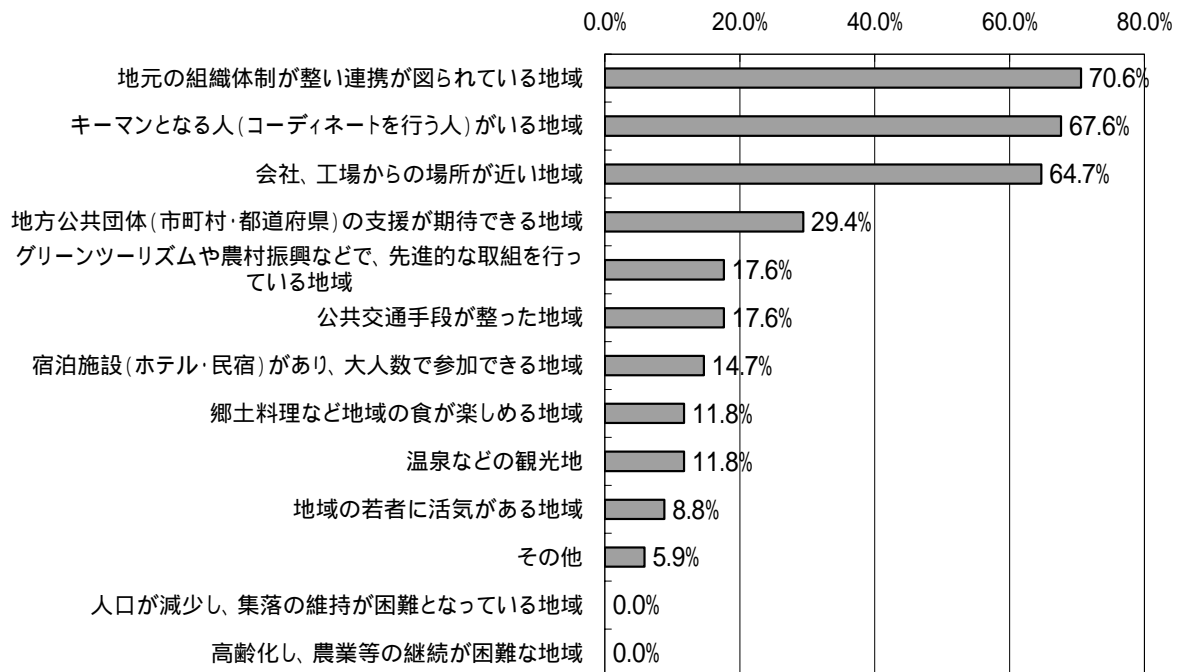
問1：企業の有する資源のうち、農村振興に最も有効な資源はなんですか。（1つ選択）

		n %	情報収集、発信能力(農村の魅力を見つけ出し、広く宣伝する能力)	企画開発能力(農村の魅力を見つけ出し、商品や事業として展開する能)	労働力(人材の提供)	資金力(資金の提供、機材や物品の提供など)	コーディネート能力(人的ネットワークの提供)	農村振興を目的として企業がやるべきことはない	その他	無回答
(全体)		34 100.0%	4 11.8%	10 29.4%	7 20.6%	7 20.6%	2 5.9%	2 5.9%	1 2.9%	1 2.9%
問2：実施している、又は実施したい取組はどれですか	農作業の支援や里山の保全にボランティアを派遣する	23 100.0%	2 8.7%	7 30.4%	6 26.1%	6 26.1%	1 4.3%	1 4.3%	0 0.0%	0 0.0%
	農村地域で生産されたものの販売支援を行う	11 100.0%	2 18.2%	3 27.3%	2 18.2%	2 18.2%	1 9.1%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%
	耕作していない農地を企業農園などとして利用する	8 100.0%	1 12.5%	3 37.5%	1 12.5%	1 12.5%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	企業のもつ知見を活用し、農村の活性化について一緒に考える	9 100.0%	1 11.1%	6 66.7%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	農村ビジネスに新たな事業参入を図る	4 100.0%	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	その他	4 100.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%

凡例：■ 平均値+10%以上の回答

問3 貴社が、農村地域での社会貢献活動を推進する際に、農村地域に求める条件は何ですか。
 (該当するもの全て選択) 問2のような取組みを行うものとしてご回答下さい。

「地元の組織体制が整い連携が図られている地域」が70.6%と過半数を超えて最も多く、次いで「キーマンとなる人(コーディネートを行う人)がいる地域」が67.6%、「会社、工場からの場所が近い地域」が64.7%と過半数を超えて多くなっている。



	回答数	回答割合
地元の組織体制が整い連携が図られている地域	24	70.6%
キーマンとなる人(コーディネートを行う人)がいる地域	23	67.6%
会社、工場からの場所が近い地域	22	64.7%
地方公共団体(市町村・都道府県)の支援が期待できる地域	10	29.4%
グリーンツーリズムや農村振興などで、先進的な取組を行っている地域	6	17.6%
公共交通手段が整った地域	6	17.6%
宿泊施設(ホテル・民宿)があり、大人数で参加できる地域	5	14.7%
郷土料理など地域の食が楽しめる地域	4	11.8%
温泉などの観光地	4	11.8%
地域の若者に活気がある地域	3	8.8%
その他	2	5.9%
人口が減少し、集落の維持が困難となっている地域	0	0.0%
高齢化し、農業等の継続が困難な地域	0	0.0%
有効回答数	34	-

【問3:その他の回答】

- ・ IPM や JGAP 等に積極的に取組む農家が多い地域
- ・ 地元の自然環境を大切に考えている地域

【問2 × 問3】

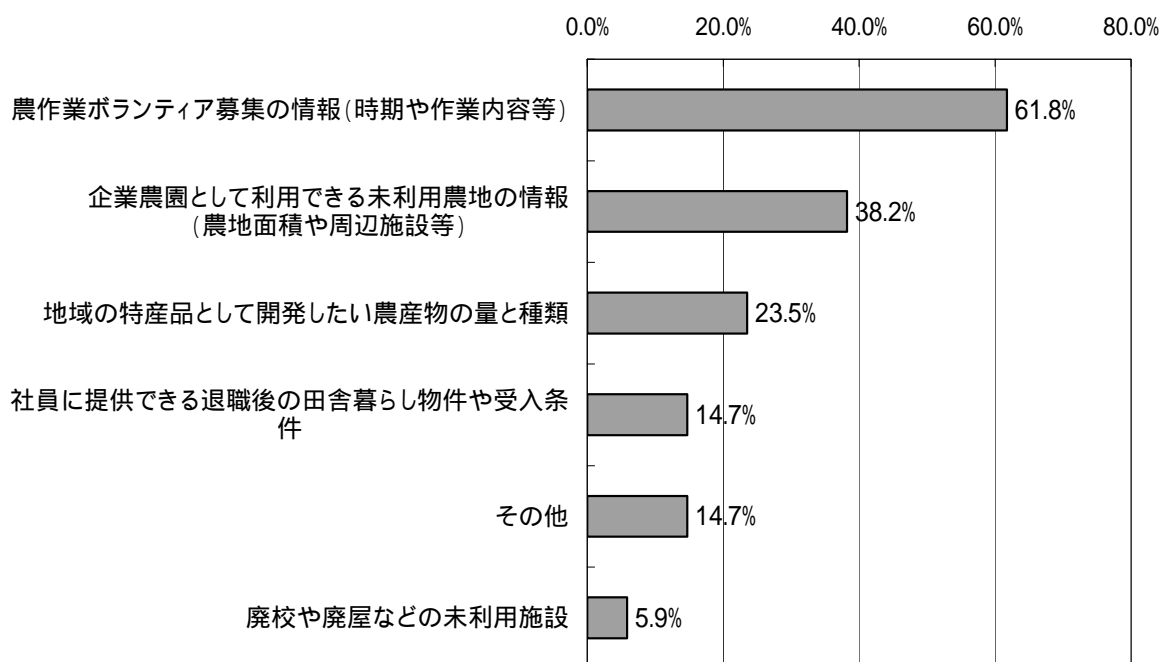
問3：農村地域に求める条件は何ですか。(該当するもの全て選択)

		n	キーマンとなる人(コーディネートを行う人)がいる地域	地元の組織体制が整い連携が図られている地域	会社、工場からの場所が近い地域	グリーンツーリズムや農村振興などで、先進的な取組を行っている地域	人口が減少し、集落の維持が困難となっている地域	宿泊施設(ホテル・民宿)があり、大人数で参加できる地域	郷土料理など地域の食が楽しめる地域	温泉などの観光地	公共交通手段が整った地域	地域の若者に活気がある地域	高齢化し、農業等の継続が困難な地域	地方公共団体(市町村・都道府県)の支援が期待できる地域	その他
(全体)		34	23	24	22	6	0	5	4	4	6	3	0	10	2
		100.0%	67.6%	70.6%	64.7%	17.6%	0.0%	14.7%	11.8%	11.8%	17.6%	8.8%	0.0%	29.4%	5.9%
問2：実施している、又は実施したい取組はどれですか	農作業の支援や里山の保全にボランティアを派遣する	23	17	18	16	4	0	4	4	4	5	3	0	7	1
		100.0%	73.9%	78.3%	69.6%	17.4%	0.0%	17.4%	17.4%	17.4%	21.7%	13.0%	0.0%	30.4%	4.3%
	農村地域で生産されたものの販売支援を行う	11	9	8	8	2	0	1	0	0	0	1	0	4	1
		100.0%	81.8%	72.7%	72.7%	18.2%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	36.4%	9.1%
	耕作していない農地を企業農園などとして利用する	8	5	5	5	0	0	2	1	2	2	0	0	1	1
		100.0%	62.5%	62.5%	62.5%	0.0%	0.0%	25.0%	12.5%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%
	企業のもつ知見を活用し、農村の活性化について一緒に考える	9	8	7	6	1	0	1	0	0	1	1	0	3	0
	100.0%	88.9%	77.8%	66.7%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%	33.3%	0.0%	
農村ビジネスに新たな事業参入を図る	4	4	1	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0
	100.0%	100.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
その他	4	3	2	3	2	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0
	100.0%	75.0%	50.0%	75.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%

凡例：■ 平均値+10%以上の回答

問4 貴社が農村地域での社会貢献活動を検討する上で、農村地域から欲しい情報は何か。
 (該当するもの全て選択)

「農作業ボランティア募集の情報(時期や作業内容等)」が61.8%と過半数を超えて最も多く、次いで「企業農園として利用できる未利用農地の情報(農地面積や周辺施設等)」が38.2%、「地域の特産品として開発したい農産物の量と種類」23.5%と多くなっている。



	回答数	回答割合
農作業ボランティア募集の情報(時期や作業内容等)	21	61.8%
企業農園として利用できる未利用農地の情報(農地面積や周辺施設等)	13	38.2%
地域の特産品として開発したい農産物の量と種類	8	23.5%
社員に提供できる退職後の田舎暮らし物件や受入条件	5	14.7%
その他	5	14.7%
廃校や廃屋などの未利用施設	2	5.9%
有効回答数	34	-

【問4:その他の回答】

- ・農産物の生産ノウハウ、技術(指導)、その地域の土壌特性、農業の歴史など
- ・地域として発信したい情報を持っていることが重要
- ・今のところ検討する予定はありません
- ・バイオマス協働事業でのニーズ
- ・自然と人との共生についての昔ながらの工夫など、環境意識につながる情報

【問2 × 問4】

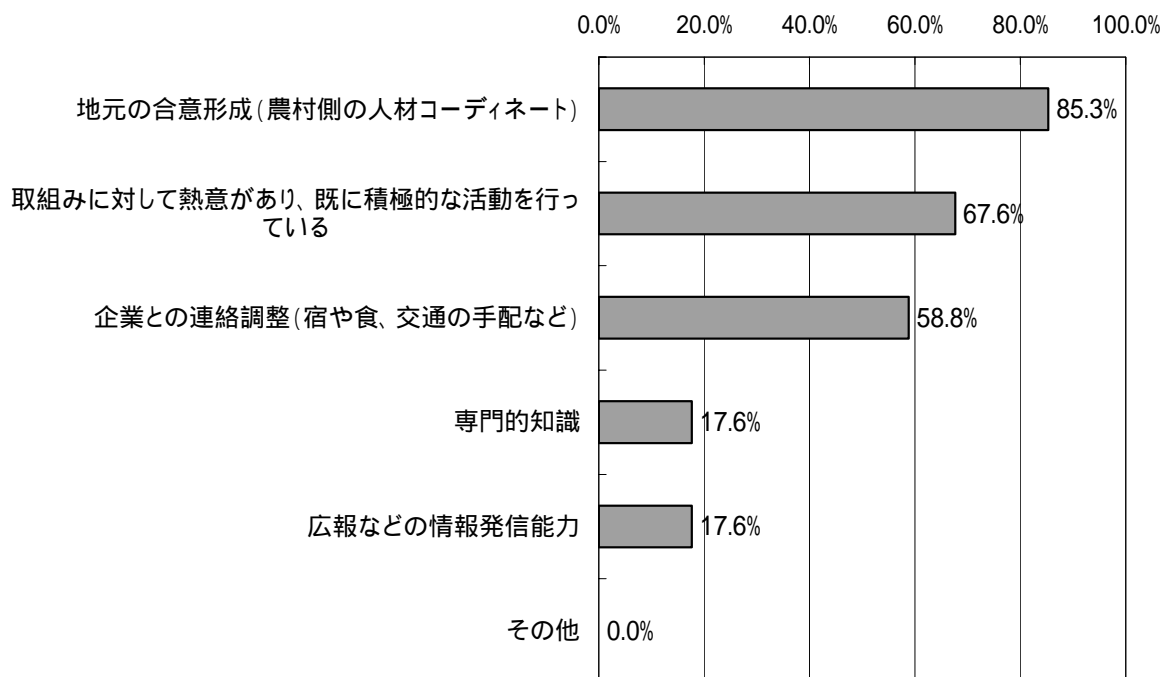
問4：農村地域から欲しい情報は何か。(該当するもの全て選択)

		n	%	農作業ボランティア募集の情報(時期や作業内容等)	企業農園として利用できる未利用農地の情報(農地面積や周辺施設等)	地域の特産品として開発したい農産物の量と種類	廃校や廃屋などの未利用施設	社員に提供できる退職後の田舎暮らし物件や受入条件	その他
(全体)		34		21	13	8	2	5	5
		100.0%		61.8%	38.2%	23.5%	5.9%	14.7%	14.7%
問2：実施している、又は実施したい取組はどれですか	農作業の支援や里山の保全にボランティアを派遣する	23		18	6	5	1	3	2
		100.0%		78.3%	26.1%	21.7%	4.3%	13.0%	8.7%
	農村地域で生産されたものの販売支援を行う	11		5	7	3	1	1	1
		100.0%		45.5%	63.6%	27.3%	9.1%	9.1%	9.1%
	耕作していない農地を企業農園などとして利用する	8		3	6	3	1	0	0
		100.0%		37.5%	75.0%	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%
	企業のもつ知見を活用し、農村の活性化について一緒に考える	9		5	3	2	1	1	2
	100.0%		55.6%	33.3%	22.2%	11.1%	11.1%	22.2%	
農村ビジネスに新たな事業参入を図る	4		2	4	1	0	1	1	
	100.0%		50.0%	100.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	
その他	4		2	1	2	0	1	2	
	100.0%		50.0%	25.0%	50.0%	0.0%	25.0%	50.0%	

凡例： 平均値+10%以上の回答

問5 農村地域での社会貢献活動を推進する際に、企業と農村側との仲介者となる人物（組織）がいることで取組がスムーズに進む事例が多く見られますが、このような仲介者に求める能力はなんですか。（該当するもの全て選択）

「地元の合意形成（農村側の人材コーディネート）」が85.3%と過半数を超えて最も多く、次いで「取組みに対して熱意があり、既に積極的な活動を行っている」が67.6%、「企業との連絡調整（宿や食、交通の手配など）」が58.8%と過半数を超えて多くなっている。



	回答数	回答割合
地元の合意形成 (農村側の人材コーディネート)	29	85.3%
取組みに対して熱意があり、既に積極的な活動を行っている	23	67.6%
企業との連絡調整 (宿や食、交通の手配など)	20	58.8%
専門的知識	6	17.6%
広報などの情報発信能力	6	17.6%
その他	0	0.0%
有効回答数	34	-

【問5：専門的知識】

- ・農作業、里山保全、生態系
- ・（他5件は無回答）

【問2 × 問5】

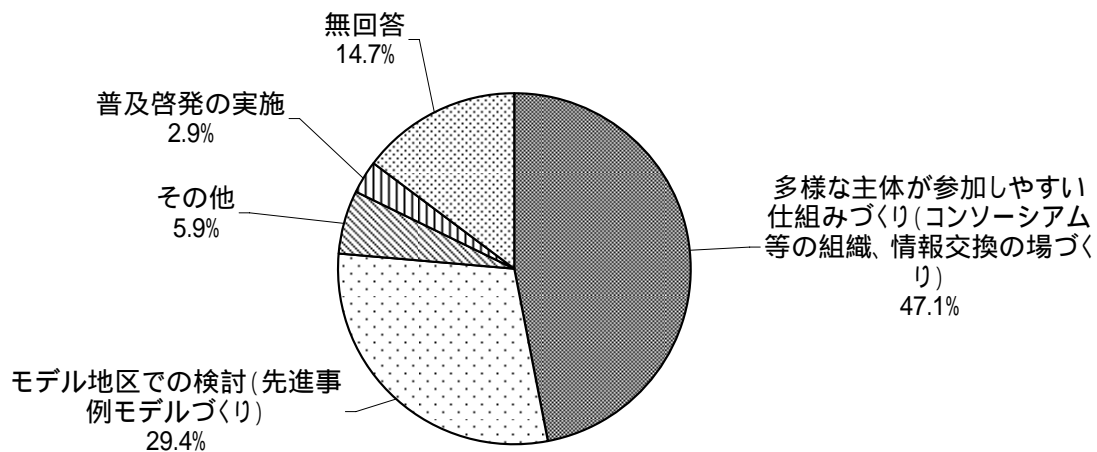
問5：仲介者に求める能力はなんですか。（該当するもの全て選択）

		n %	地元の 合意形成 (農村側 の人材 コーディネート)	企業と の連絡調 整(宿や 食、交通 の手配な ど)	取組み に対して 熱意があ り、既に 積極的な 活動を行 っている	専門的 知識	広報な どの情報 発信能力	その他
(全体)		34 100.0%	29 85.3%	20 58.8%	23 67.6%	6 17.6%	6 17.6%	0 0.0%
問2：実施して いる、又は実 施したい取組 はどれですか	農作業の支援や里山の保全にボランティアを派遣する	23 100.0%	20 87.0%	14 60.9%	15 65.2%	3 13.0%	5 21.7%	0 0.0%
	農村地域で生産されたものの販売支援を行う	11 100.0%	11 100.0%	6 54.5%	7 63.6%	3 27.3%	2 18.2%	0 0.0%
	耕作していない農地を企業農園などとして利用する	8 100.0%	8 100.0%	4 50.0%	5 62.5%	3 37.5%	1 12.5%	0 0.0%
	企業のもつ知見を活用し、農村の活性化について一緒に考える	9 100.0%	9 100.0%	5 55.6%	7 77.8%	2 22.2%	2 22.2%	0 0.0%
	農村ビジネスに新たな事業参入を図る	4 100.0%	4 100.0%	4 100.0%	4 100.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%
	その他	4 100.0%	4 100.0%	2 50.0%	4 100.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%

凡例：■ 平均値+10%以上の回答

問6 企業による農村地域での社会貢献活動を推進するための行政(国)の展開施策として、最も有効だと考えられるものはどれですか。(1つ選択)

「多様な主体が参加しやすい仕組みづくり(コンソーシアム等の組織、情報交換の場づくり)」が47.1%と最も多く、次いで「モデル地区での検討(先進事例モデルづくり)」が29.4%と多くなっている。



	回答数	回答割合
多様な主体が参加しやすい仕組みづくり(コンソーシアム等の組織、情報交換の場づくり)	16	47.1%
モデル地区での検討(先進事例モデルづくり)	10	29.4%
その他	2	5.9%
普及啓発の実施	1	2.9%
無回答	5	14.7%
合計	34	100.0%

【問6:その他の回答】

- ・企業名の公表、世間一般への政府 PR
- ・企業がどこに支援が可能かの具体的情報提供

【問2 × 問6】

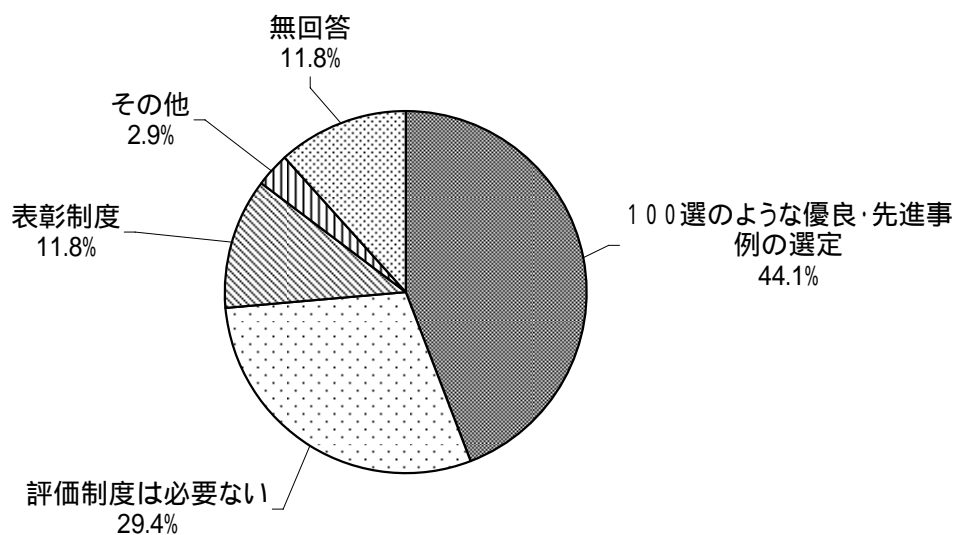
問6:行政(国)の展開施策として、最も有効だと考えられるもの。(1つ選択)

		n %	多様な 主体が参 加しやす い仕組み づくり(コ ンソーシ アム等の 組織、情 報交換の 場づくり)	普及啓 発の実施	モデル 地区での 検討(先 進事例モ デルづく り)	その他	無回答
(全体)		34	16	1	10	2	5
		100.0%	47.1%	2.9%	29.4%	5.9%	14.7%
問2:実施して いる、又は実 施したい取組 はどれですか	農作業の支援や里山の保全にボランティアを派遣する	23	13	1	5	1	3
		100.0%	56.5%	4.3%	21.7%	4.3%	13.0%
	農村地域で生産されたものの販売支援を行う	11	5	0	3	1	2
		100.0%	45.5%	0.0%	27.3%	9.1%	18.2%
	耕作していない農地を企業農園などとして利用する	8	3	0	3	1	1
		100.0%	37.5%	0.0%	37.5%	12.5%	12.5%
	企業のもつ知見を活用し、農村の活性化について一緒に考える	9	5	0	2	1	1
	100.0%	55.6%	0.0%	22.2%	11.1%	11.1%	
農村ビジネスに新たな事業参入を図る	4	0	0	2	1	1	
	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	
その他	4	2	0	0	0	0	2
	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%

凡例: 平均値+10%以上の回答

問7 行政(国)などが、農村地域で社会貢献活動を行う企業を評価することは、企業にとっての広報・紹介や取組みの促進に繋がると考えられますが、どのような評価制度が有効であると考えますか。(1つ選択)

「100選のような優良・先進事例の選定」が44.1%と最も多く、次いで「評価制度は必要ない」が29.4%と多くなっている。



	回答数	回答割合
100選のような優良・先進事例の選定	15	44.1%
評価制度は必要ない	10	29.4%
表彰制度	4	11.8%
その他	1	2.9%
無回答	4	11.8%
合計	34	100.0%

【問7:その他の回答】

- ・企業の取組例の紹介等

【問2 × 問7】

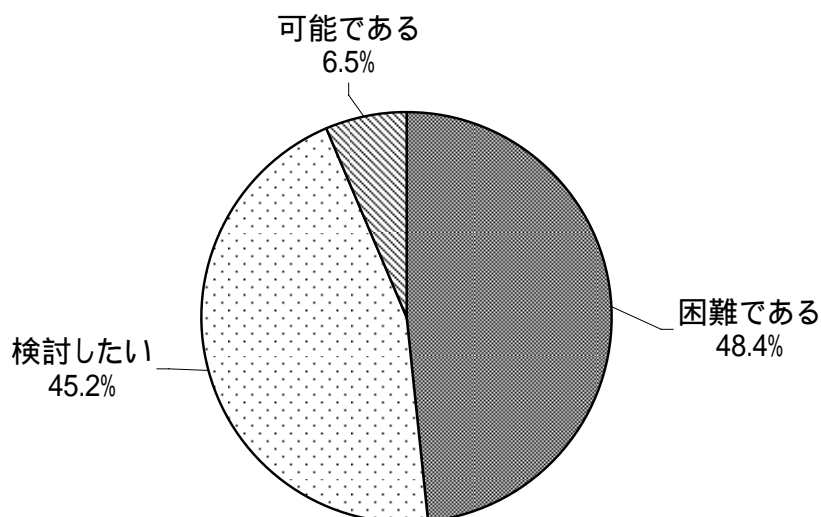
問7: どのような評価制度が有効であると考えますか。(1つ選択)

		n %	表彰制 度	100選 のような 優良・先 進事例の 選定	評価制 度は必要 ない	その他	無回答
(全体)		34 100.0%	4 11.8%	15 44.1%	10 29.4%	1 2.9%	4 11.8%
問2: 実施している、又は実施したい取組はどれですか	農作業の支援や里山の保全にボランティアを派遣する	23 100.0%	3 13.0%	10 43.5%	7 30.4%	1 4.3%	2 8.7%
	農村地域で生産されたものの販売支援を行う	11 100.0%	0 0.0%	4 36.4%	5 45.5%	0 0.0%	2 18.2%
	耕作していない農地を企業農園などとして利用する	8 100.0%	0 0.0%	3 37.5%	4 50.0%	0 0.0%	1 12.5%
	企業のもつ知見を活用し、農村の活性化について一緒に考える	9 100.0%	2 22.2%	3 33.3%	2 22.2%	0 0.0%	2 22.2%
	農村ビジネスに新たな事業参入を図る	4 100.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%
	その他	4 100.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%

凡例: 平均値+10%以上の回答

問8 農村地域での社会貢献活動を求める市町村と、活動に興味のある企業を繋ぐ為のネットワークを構築する場合、貴社の窓口を登録することは可能ですか。(1つ選択)

「困難である」が48.4%と最も多く、次いで「検討したい」が45.2%と多くなっており、「可能である」と「検討したい」を合わせると51.7%となり、過半数の企業が窓口の登録に対して積極的な回答となっている。



	回答数	回答割合
困難である	15	44.1%
検討したい	14	41.2%
可能である	2	5.9%
無回答	3	8.8%
合計	34	100.0%